

## ～薬剤科より～ 糖尿病の新しい薬についてのおさらい インクレチン関連薬:GLP-1 受容体作動薬と DPP-4 阻害薬について

### Q. インクレチン関連薬とは・・・

A. 食事をすると小腸からインクレチンと呼ばれるホルモンが分泌されます。インクレチンは血糖値が高い時だけ、膵臓からのインスリン分泌を促す働きがあります。そのインクレチン体内量を増やすことでインスリン分泌を促進し、血糖値を改善させる薬がインクレチン関連薬です。インクレチン関連薬は、GLP-1 受容体作動薬と DPP-4 阻害薬という2種類の薬の総称です。低血糖の心配が少ないお薬です。

### Q. GLP-1 受容体作動薬って??

A. インクレチンは、主に2つの種類があります。その一つは GLP-1 と呼ばれています。GLP-1 は通常、体内で分解酵素の働きによってすぐに分解されてしまいます。分解されにくい構造にした GLP-1 そのものを注射する薬が GLP-1 受容体作動薬です。1日1回もしくは2回自己注射します。

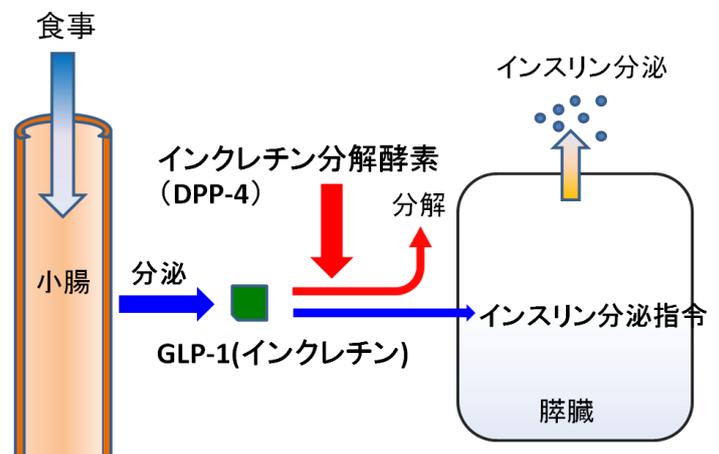


図: インクレチンによるインスリン分泌指令

### Q. DPP-4 阻害薬って??

A. インクレチンは、体内で DPP-4 と呼ばれるインクレチン分解酵素によりすぐに分解されます。DPP-4 阻害薬はインクレチン分解酵素(DPP-4)の働きを弱めてインクレチンの寿命を延ばす飲み薬です。1日1回もしくは2回服用します。

### ★糖尿病をコントロールするポイント★

処方されたお薬の作用を正しく理解し、**指示どおりの時間・回数を守る**ことが大切です。

糖尿病のコントロールには食事・運動などの生活習慣を変えることと、その継続が欠かせません。皆様の糖尿病療養に役立つ情報をこの「糖尿病だより」で発信していきます。

